



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
 コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8091

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,634	20.2	1,917	174.2	1,855	162.5	1,000	166.5
2019年3月期第2四半期	8,014	13.4	699	30.5	706	38.2	375	54.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,028百万円 (192.3%) 2019年3月期第2四半期 351百万円 (46.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	62.12	
2019年3月期第2四半期	23.04	

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,814	7,858	46.7
2019年3月期	15,290	7,474	48.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,858百万円 2019年3月期 7,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		1.00	1.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。2020年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。詳細は、5月7日公表の「株式併合および定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	4.6	2,750	8.8	2,710	13.5	1,770	93.1	108.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	16,626,376 株	2019年3月期	16,626,376 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	747,124 株	2019年3月期	329,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	16,108,901 株	2019年3月期2Q	16,297,303 株

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては[添付資料] P4. 「1.当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

2019年6月27日開催の第25回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、普通株式20株につき1株の割合で実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の2020年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりであります。

- 2020年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 1円50銭
- 2020年3月期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 通期 5円43銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）において、当社グループは、2019年5月7日に公表いたしました中期経営計画に基づき、更なる事業の成長及び企業価値の最大化に向け、成長戦略として計画した施策を一つ一つ着実に実行しました。既存事業においては、新商品や新サービスの開発、海外への展開等に注力し、加えて、事業内容自体の拡大についても取組みを加速させました。特に海外展開については、9月に台湾、香港、上海に新たな店舗をオープンし、積極的な取組みを行いました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、主力のブライダルジュエリー事業の売上が引き続き好調に推移したこと、全身美容事業における利益率改善施策が着実に成果をあげたことを主要因として、売上高は96億34百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は19億17百万円（前年同期比174.2%増）、経常利益は18億55百万円（前年同期比162.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億円（前年同期比166.5%増）となり、いずれも前年を大幅に上回る成果を上げることができました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①ブライダルジュエリー事業

当第2四半期連結累計期間におけるブライダルジュエリー事業の売上高は76億82百万円（前年同期比40.4%増）、セグメント利益は21億48百万円（前年同期比111.6%増）となりました。

国内においては、テレビCMやWEB広告等による集客の成功、加えて、各種イベントやフェアの開催、映画やドラマへの積極的な協力等が奏功すると同時に、消費税増税前の駆け込み需要もあり、来店客数は増加基調で推移し、販売スタッフの能力向上と相俟って、大幅な売上増加を達成することができました。店舗管理の改善、店舗戦略、人材育成等にも継続的に取り組んでおり、これらの施策によりブランドイメージが向上し、お客さまに高いご評価をいただけたものと考えております。

また、当社のジュエリーブランドの一つエクセルコ ダイヤモンドについては、今年がベルギーのダイヤモンドカッターの名門トルコウスキー家の4代目当主で、数学者でもあったマーセル・トルコウスキーが、現在、世界的に広く普及しているダイヤモンドの基本的なデザインであるアイデアル ラウンド ブリリアントカットを発表してから100年目に当たり、様々な記念イベントの開催やプロモーションを実施し、ブランド価値のさらなる向上を目指してまいりました。

海外出店については、9月に台湾、香港、上海で新たな店舗をオープンしました。台湾では5店舗目となる銀座ダイヤモンドシライシ 新光三越台中中港店、香港では初出店となる銀座ダイヤモンドシライシ 香港 SOGO TST店、上海では現地子会社である新魅（上海）珠宝有限公司（ブライダルジュエリー事業）と上海东美美容有限公司（全身美容事業）の各々既存店舗を移転統合し、新しい展開を図りました。海外マーケットでの新しい顧客へのアプローチは、将来の重要な営業基盤を作っていくための施策であり、成長戦略の要として今後も引き続き積極的に進めてまいります。

2019年9月末における「銀座ダイヤモンドシライシ」の国内店舗は45店舗、海外店舗は7店舗、「エクセルコ ダイヤモンド」の国内店舗は28店舗、海外店舗は1店舗となりました。

②全身美容事業

当第2四半期連結累計期間における全身美容事業の売上高は15億88百万円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は1億82百万円（前年同期はセグメント損失31百万円）となりました。

全身美容事業につきましては、当第2四半期連結累計期間においても売上拡大及び利益率の改善を図るための施策として、WEBマーケティングの仕組み構築、来店誘致戦略の見直し、既存会員へのアプローチ強化、商品構成の変更、化粧品事業の強化、といった施策を継続的に実施してまいりました。これらの取組みにより利益体質への転換が進み、特に利益面においては前年同期比で大幅な改善を果たすことができました。今後とも更なる体質強化に一層の取組みを継続してまいります。

2019年9月末における国内店舗は25店舗、海外店舗は2店舗であります。

③アート事業

当第2四半期連結累計期間におけるアート事業の売上高は2億69百万円（前年同期比68.6%減）、セグメント損失は16百万円（前年同期はセグメント損失57百万円）となりました。

アート事業を運営する株式会社ニューアート・フィンテックにおいては、アートと金融を融合させる新規事業の立上げに注力し、現在3つのアートファンドを組成する予定で準備を進めております。

④その他事業

当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は1億4百万円（前年同期比65.4%減）、セグメント損失は28百万円（前年同期はセグメント利益62百万円）となりました。

その他事業においては、株式会社ニューアート・スポーツが株式会社ニューアート・クレイジーから商号を変更し、ゴルフ以外のスポーツ分野への事業展開も視野に入れて積極的な経営を進めています。

注) 各セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2018年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)
ブライダル ジュエリー事業	宝飾品の販売、サービス	7,681,209	40.4	79.7
全身美容事業	エステティックサロンのサービス、物品販売	1,579,333	14.0	16.4
アート事業	美術品等の販売	269,810	△68.6	2.8
その他事業	ゴルフ用品の販売等	103,769	△65.5	1.1
合 計		9,634,123	20.2	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. 「ブライダルジュエリー事業」は、ブライダルジュエリー販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよびファッションジュエリー販売の売上となっております。

4. 「全身美容事業」は、エステ施術サービス、化粧品、栄養食品および美容機器販売の売上となっております。

5. 「アート事業」は、美術品等の販売の売上となっております。

6. 「その他事業」は、ゴルフクラブ用カーボンシャフト、ゴルフ用品の販売およびIT関連事業等による売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比17億4百万円増加（前連結会計年度末比15.0%増）し、130億83百万円となりました。これは、現金及び預金の増加19億72百万円、受取手形及び売掛金の減少6億51百万円、商品及び製品の増加4億22百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比1億80百万円減少（同4.6%減）し、37億30百万円となりました。これは、減価償却累計額の増加などによる有形固定資産の減少88百万円、繰延税金資産の減少33百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比15億23百万円増加（同10.0%増）し、168億14百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比11億83百万円増加（前連結会計年度末比17.0%増）し、81億29百万円となりました。これは、短期借入金の増加8億3百万円、前受金の増加5億30百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比44百万円減少（同5.1%減）し、8億26百万円となりました。これは、長期借入金の減少31百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比11億39百万円増加（同14.6%増）し、89億55百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比3億84百万円増加（前連結会計年度末比5.1%増）し、78億58百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益10億円がありました一方、剰余金の配当3億25百万円及び自己株式の取得による自己株式の増加3億17百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は46.7%（前連結会計年度末は48.9%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ、19億72百万円増加し、39億74百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は21億5百万円（前年同四半期は5億9百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益17億57百万円、売上債権の減少額6億40百万円、前受金の増加額5億31百万円等による獲得がありました。一方でたな卸資産の増加額5億1百万円等の使用となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は94百万円（前年同四半期は1億47百万円の使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1億31百万円、関係会社株式の取得による支出44百万円等の使用がありました。一方で有形固定資産の売却による収入39百万円等の獲得となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は36百万円（前年同四半期は3億22百万円の使用）となりました。これは主として、短期借入金及び長期借入金の返済による支出14億61百万円、自己株式の取得による支出3億17百万円、配当金の支払額3億21百万円等の使用がありました。一方で短期借入れ及び長期借入れによる収入20億80百万円等の獲得となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月7日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,002,017	3,974,514
受取手形及び売掛金	2,447,329	1,795,656
商品及び製品	6,596,204	7,018,891
仕掛品	75,750	75,375
原材料及び貯蔵品	152,734	208,793
前払費用	124,903	139,949
その他	212,494	109,969
貸倒引当金	△232,172	△239,599
流動資産合計	11,379,263	13,083,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,009,385	902,069
機械装置及び運搬具（純額）	12,287	11,116
工具、器具及び備品（純額）	771,061	788,140
リース資産（純額）	120,237	110,011
建設仮勘定	940	13,650
有形固定資産合計	1,913,911	1,824,987
無形固定資産		
のれん	347,951	333,479
その他	68,568	61,909
無形固定資産合計	416,519	395,389
投資その他の資産		
長期貸付金	347,740	347,740
繰延税金資産	196,144	162,824
敷金及び保証金	1,095,984	1,092,642
その他	465,002	509,297
貸倒引当金	△524,021	△602,069
投資その他の資産合計	1,580,849	1,510,436
固定資産合計	3,911,280	3,730,813
資産合計	15,290,544	16,814,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	320,002	305,390
短期借入金	2,626,800	3,430,000
1年内返済予定の長期借入金	790,868	637,433
リース債務	30,643	30,531
未払金及び未払費用	719,803	861,781
未払法人税等	783,466	733,282
前受金	1,407,764	1,937,970
その他	266,368	193,132
流動負債合計	6,945,716	8,129,522
固定負債		
長期借入金	313,214	282,124
リース債務	88,650	73,295
退職給付に係る負債	207,397	215,177
その他	261,551	255,592
固定負債合計	870,814	826,190
負債合計	7,816,531	8,955,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,153	2,376,155
利益剰余金	2,672,615	3,347,422
自己株式	△202,117	△520,053
株主資本合計	7,463,903	7,820,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△30
為替換算調整勘定	10,109	37,905
その他の包括利益累計額合計	10,109	37,875
純資産合計	7,474,012	7,858,652
負債純資産合計	15,290,544	16,814,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	8,014,050	9,634,123
売上原価	3,285,047	3,227,366
売上総利益	4,729,002	6,406,757
販売費及び一般管理費	4,029,780	4,489,661
営業利益	699,222	1,917,095
営業外収益		
受取利息	295	101
為替差益	24,520	-
保険解約返戻金	-	11,661
その他	1,900	2,337
営業外収益合計	26,716	14,100
営業外費用		
支払利息	19,041	18,522
貸倒引当金繰入額	-	5,152
為替差損	-	49,769
その他	111	2,163
営業外費用合計	19,153	75,608
経常利益	706,784	1,855,587
特別利益		
固定資産売却益	-	1,328
特別利益合計	-	1,328
特別損失		
固定資産除却損	8,226	-
減損損失	13,160	99,349
特別損失合計	21,386	99,349
税金等調整前四半期純利益	685,398	1,757,567
法人税、住民税及び事業税	363,297	723,494
法人税等調整額	△53,398	33,319
法人税等合計	309,898	756,814
四半期純利益	375,500	1,000,752
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,500	1,000,752

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	375,500	1,000,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△30
為替換算調整勘定	△23,582	27,796
その他の包括利益合計	△23,582	27,766
四半期包括利益	351,918	1,028,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,918	1,028,518
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	685,398	1,757,567
減価償却費	117,899	118,871
減損損失	13,160	99,349
のれん償却額	14,471	14,471
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,779	85,474
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,958	7,779
受取利息及び受取配当金	△295	△101
支払利息	19,041	18,522
為替差損益 (△は益)	△35,991	2,294
保険解約返戻金	—	△11,661
固定資産売却益	—	△1,328
固定資産除却損	8,226	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△414,705	640,909
たな卸資産の増減額 (△は増加)	155,720	△501,056
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,561	△14,612
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△53,326	126,339
前受金の増減額 (△は減少)	431,770	531,879
未払又は未収消費税等の増減額	58,970	24,381
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△167,518	△6,708
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	8,103	△40,346
その他	△13,122	46,616
小計	892,101	2,898,643
利息及び配当金の受取額	295	101
利息の支払額	△17,910	△19,768
法人税等の還付額	41,176	1,662
法人税等の支払額	△406,626	△774,967
営業活動によるキャッシュ・フロー	509,036	2,105,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	—
有形固定資産の取得による支出	△83,973	△131,584
有形固定資産の売却による収入	—	39,000
無形固定資産の取得による支出	△10,029	△3,586
保険積立金の解約による収入	—	37,719
敷金及び保証金の差入による支出	△35,210	△2,701
敷金及び保証金の回収による収入	26,383	32,926
関係会社株式の取得による支出	—	△44,827
その他	△4,296	△21,742
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,126	△94,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	840,000	1,780,000
短期借入金の返済による支出	△845,599	△976,800
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△309,102	△484,525
リース債務の返済による支出	△11,748	△15,466
自己株式の取得による支出	△11	△317,941
自己株式の処分による収入	—	8
配当金の支払額	△96,034	△321,407
財務活動によるキャッシュ・フロー	△322,496	△36,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,275	△2,243
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,689	1,972,497
現金及び現金同等物の期首残高	1,282,476	2,002,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,324,165	3,974,514

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月7日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が317,906千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	全身美容事 業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,469,866	1,384,915	858,385	300,882	8,014,050	—	8,014,050
セグメント間の内部売 上高又は振替高	642	—	—	171	813	△813	—
計	5,470,509	1,384,915	858,385	301,053	8,014,863	△813	8,014,050
セグメント利益又は損 失(△)	1,015,137	△31,270	△57,634	62,244	988,477	△289,255	699,222

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「全身美容事業」において、統合による移転が決定した店舗の原状回復費用に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては11,060千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	全身美容事 業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,681,209	1,579,333	269,810	103,769	9,634,123	—	9,634,123
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,536	9,559	—	256	11,352	△11,352	—
計	7,682,746	1,588,892	269,810	104,025	9,645,475	△11,352	9,634,123
セグメント利益又は損 失(△)	2,148,303	182,961	△16,697	△28,578	2,285,988	△368,893	1,917,095

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「ジュエリー事業」及び「エステ事業」の報告セグメントの名称を、「ブライダルジュエリー事業」及び「全身美容事業」に変更しております。これは、当社グループが行う事業をより適切に表現するためによるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称を記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブライダルジュエリー事業」において、店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては46,637千円であります。

「全身美容事業」において、店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては52,711千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式併合)

当社は、2019年5月7日開催の取締役会において、2019年6月27日開催の第25回定時株主総会に株式併合について付議することを決議し、同定時株主総会で承認可決され、2019年10月1日付でその効力が発生しております。

(1) 株式併合の目的

当社の株価は、1円当たりの株価変動率が相対的に大きく、投機的対象として株価の乱高下が生じやすい状況であるため、一般投資家の皆様への影響が大きくなっております。また、東京証券取引所では望ましい投資単位として5万円以上50万円未満という水準を明示しており、当社の株価はこの水準を下回っております。このような理由から、20株を1株に株式併合することにより当社株式の投資単位を適切な水準に調整することを目的としております。

(2) 株式併合の内容

① 株式併合する株式の種類

普通株式

② 株式併合の方法・比率

2019年10月1日をもって、2019年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を基準に、20株につき1株の割合をもって併合いたしました。

③ 株式併合により減少する株式数

株式併合前の発行済株式総数 (2019年9月30日現在)	332,527,514株
今回の株式併合により減少する株式数	315,901,139株
株式併合後の発行済株式総数	16,626,375株

(3) 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、一括して処分し、その処分代金を端数の生じた株主に対して、端数の割合に応じて分配いたします。

(4) 効力発生日における発行可能株式総数

66,000,000株

株式併合の割合にあわせて、従来の700,000,000株から66,000,000株に減少いたしました。

(5) 株式併合の日程

取締役会決議日	2019年5月7日
株主総会決議日	2019年6月27日
株式併合の効力発生日	2019年10月1日

(6) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

(取得による企業結合)

当社の完全子会社である株式会社ニューアート・フィンテックは、2019年10月30日開催の取締役会及び株主総会において、ASIA Contemporary Art Investment Fund Ltd.の発行する債券(PERFORMANCE LINK NOTE)を取得(投資)することを決議し、同社は株式会社ニューアート・フィンテックの子会社(当社の孫会社化)になりました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：ASIA Contemporary Art Investment Fund Ltd.

事業の内容：美術品の売買

② 企業結合を行った主な理由

投資目的

③ 企業結合日

2019年10月31日

④ 企業結合の法的形式

実質支配力基準に基づく子会社化

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

該当事項はありません。

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

ASIA Contemporary Art Investment Fund Ltd.の取締役会における株式会社ニューアート・フィンテック側の構成員が過半数を占めること、及び株式会社ニューアート・フィンテックがASIA Contemporary Art Investment Fund Ltd.の資金調達額の総額の過半について融資を行うこととなったため、実質支配力基準に基づいて、同社は株式会社ニューアート・フィンテックの子会社になりました。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

該当事項はありません。

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

該当事項はありません。